

JUKI

The Misiin / めいひめII

AT-2800

取扱説明書 (1)

使い方のガイド

基本編

COMPUTER SEWING MACHINE

お買い上げ まことにありがとうございます。
 このコンピューターミシンの特長をご理解していただき、
 正しくご使用していただくために
 まず この「取扱説明書」(1)基本編をよくご覧ください。
 ご覧になったあとは、保証書、サービス網一覧表とともに、
 必ずケースの中に入れて保管してください。
 なお、このミシンは選びぬかれた純正部品を使い
 充分な品質管理された日本製ですので
 多彩なソーイングをお楽しみください。

正しくご使用していただくために、必ずお守りください。

針のとりかえ、ランプの交換、注油などのときは
 必ず電源を切ってから行ってください。



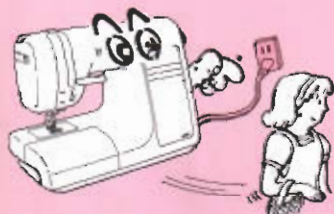
- 特にカバー類をはずす場合はコンセントからプラグをぬいてください。

お子様の手の届くところに置かないでください。



- 特にコンセントをつないだままだと危険です。

ご使用にならないときは必ず電源スイッチを切り
 コンセントからプラグをぬいてください。



直射日光が当たる場所、湿気が多い場所には置かないでください。



ミシン油以外の油は使わないでください。



シンナーなどの溶剤でふかないでください。



- やわらかい布に中性洗剤を少量つけて、よくふきとってください。

- 5℃～40℃の範囲でお使いください。

- 長時間のゆっくりぬいをつづけると異常発熱を防ぐため、ミシンがとまるようになっています。

このミシンはマイクロコンピューター、半導体電子部品や精密な電子回路を内蔵していますので、右記の状態がおこる場合がありますからご注意ください。



- 温度がいちじるしく低い場合、正常に動かないことがあります。



- 約20分で安全装置が復帰して正常にご使用できます。

ザ・ミシンのごしょうかい!

紹介

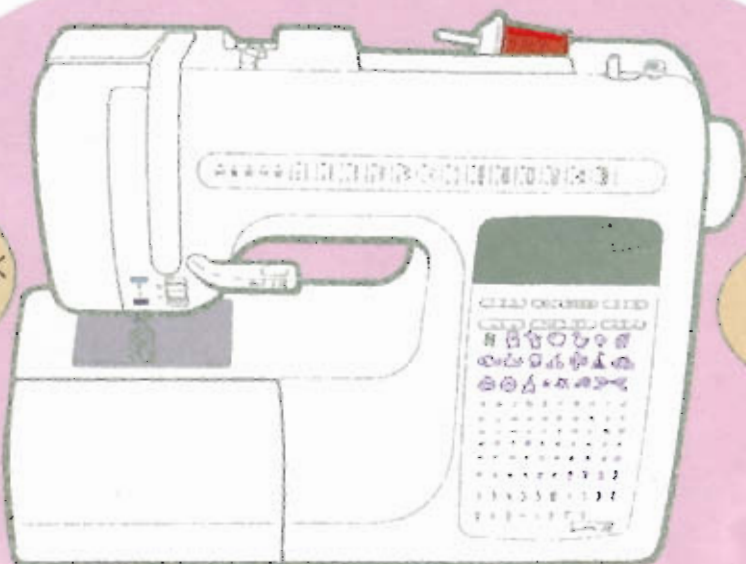
自動糸調子は
ためしぬいなしで
ぬえるのね

世界で初めて
JUKIだけの
糸のムダがない
自動糸切りね

大型模様は最大
25ミリまで
ぬえるのね!

しんせつ
モニターは
操作ミスや糸の少なく
なったのを
知らせるのね

ボタン穴かがりは
とめぬいまで
自動よ!



もくじ

準備	下糸巻きの糸のかけ方	3・4
	上糸のかけ方	5・6
	・針自動糸通し	
	下糸の引きあげ方	7
ぬいの基本	押えの交換	8
	布地を入れてぬってみよう	9・10
	・自動糸切り	
	・返しぬい	
調節の基本	・ぬい方向を変えるとき	
	・厚地のぬい始め	
	・ぬい代の重なっているとき	
	ぬい目の長さを変えたいとき	11
模様ぬいの基本	ジグザグ模様など選ぶには	12
	糸調子を変えたいとき	13
	しんせつモニターが点灯しているとき	14
	大型具象模様をぬうには	15・16
交換・調整	1.ワンポイントぬい	2.反転ぬい
	3.連続ぬい	4.縮小ぬい
	大型アルファベットをぬうには	17
	1.ワンポイントぬい	2.縮小ぬい

模様ぬいの基本	大型連続模様をぬうには	18
	標準模様をぬうには	18
	・ひらがな濁点ぬい	
	模様を組み合わせてぬうには	19・20
交換・調整	・大型アルファベットの組み合わせ	
	・大型具象模様の組み合わせ	
	・大型具象模様とA・B面模様の組み合わせ	
	模様NO.の訂正のし方	21・22
模様の形の整え方	21・22	
針の交換	23	
ランプの交換	23	
ミシンの手入れ(掃除・注油)	24	
ボビンケースの調整方法	24	
各部の名称と付属品	25	
サービスをお申しつけになる前に	26・27	
修理サービスのご案内	28	
別売品・コントローラーのご案内	29	

使い方の基本

下糸巻きの糸のかけ方

番号順に順序よくおこないます

4 糸案内に
かけます。



7 スタートボタンを
押します。

6 スピードを
早く(上に)
します。

8 ボビンケース
をとり出し
セットします。

●下糸巻き調整

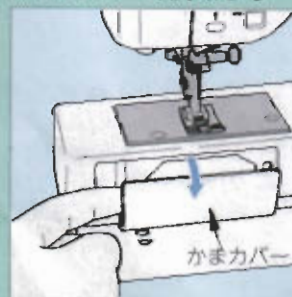


フリーアームのセット



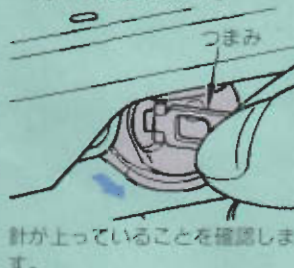
補助ヘッドを上にあげて手前
に引いてから下におろします。

かまカバーを開きます

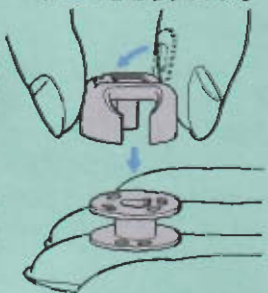


かまカバー

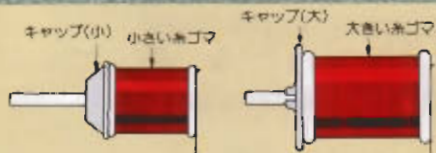
●ボビンケースのつまみを 開いてとり出します



●つまみを開けて ボビンをとり出します



3 糸ゴマを入れ
キャップを
さし込みます。



糸ゴマの外周に応じてキャップの(大)、(小)を選んで糸ゴマが動かないよう押えます。

5 ボビンをセットします。

ボビンをさし込んだら糸巻調節軸へ押しつけます



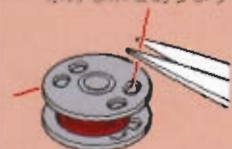
糸巻調節軸

巻き終わったら

左側へもどします

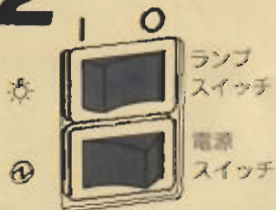


余分な糸を切ります



1 コードを引き出し
室内コンセントへ
さしこみます。

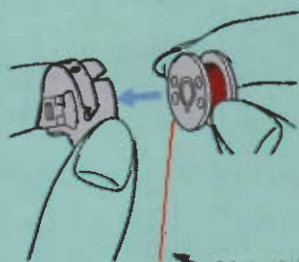
2 電源を入れます。



I は入 (ON)

O は切 (OFF)

●ボビンの糸の巻き方向を確かめて入れます

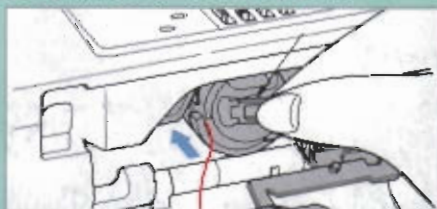


糸調子ネジ 糸通し口
糸調子ばね

糸通し口から糸を
すべらせませす

10センチ出します

ミシンにボビンケースをセットします



①つまみをいっぱいにかけて、かまにしっかりとさしこみます。

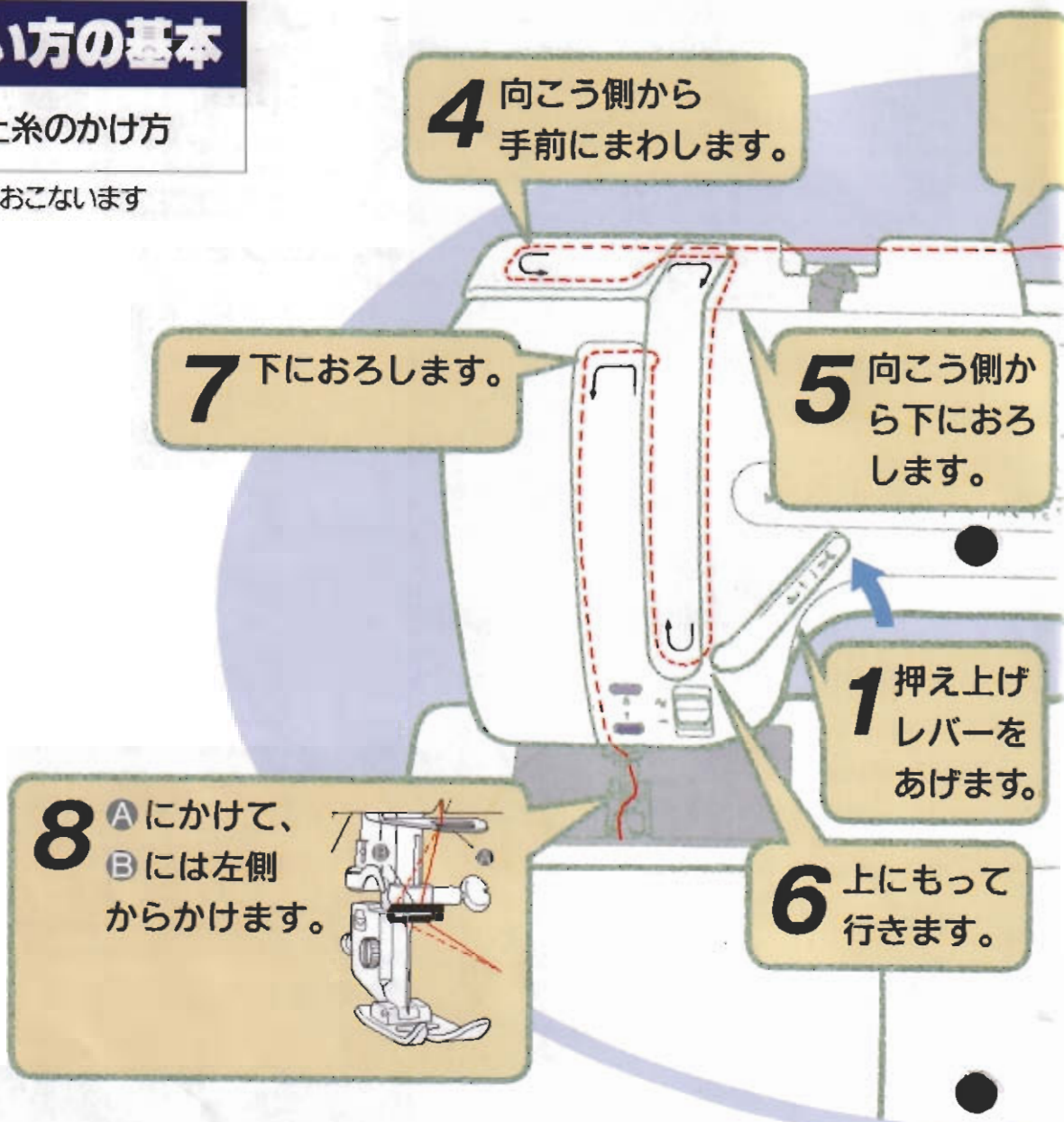
②ボビンケースのつまみをきちんと閉じます。

③かまカバーを閉じます。

使い方の基本

上糸のかけ方

順序よくおこないます



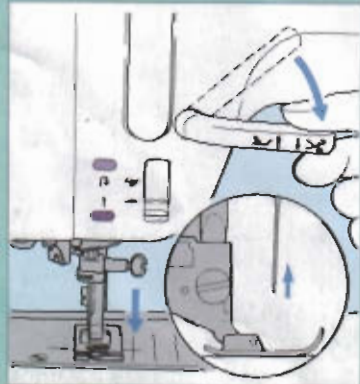
押え上げレバーをさげます

糸通しレバーをさげます

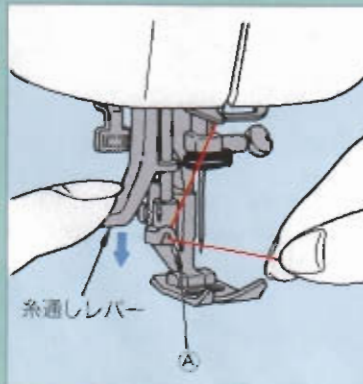
フックにかけます

9

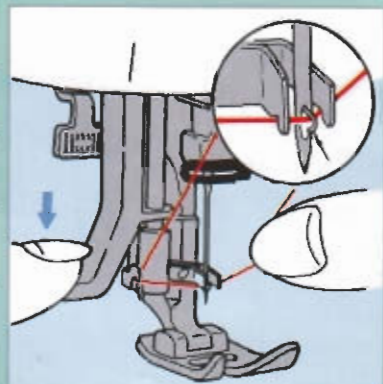
針自動糸通し



※針が一番上にあげます。



糸通しレバーを途中(重くなる直前)までさげて糸をかけます。



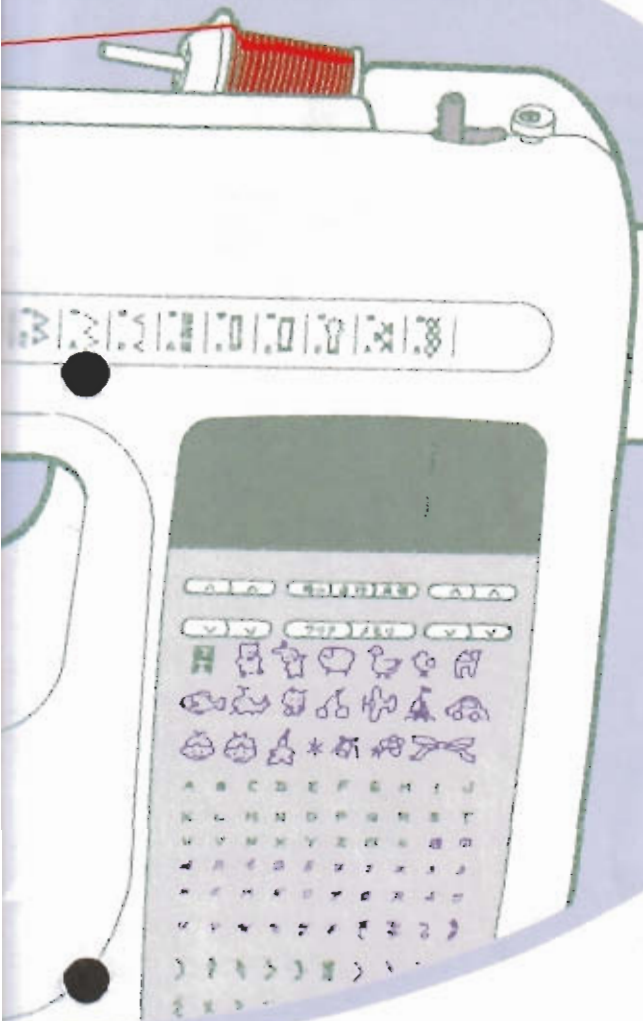
さらに糸通しレバーをさげてフックに糸をかけます。

3 両手で奥まで押し込みます。

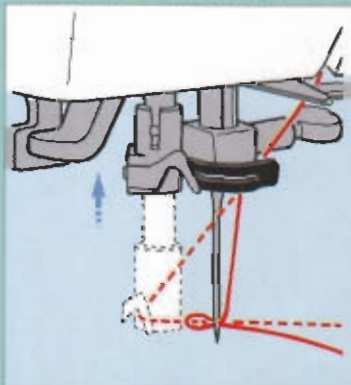
(糸検知糸案内)



2 はずみ車を手前にまわし、針を最上位置にします。

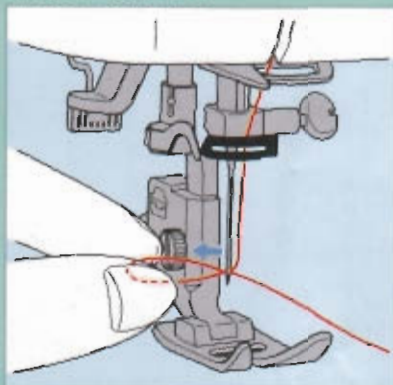


糸通しレバーをあげます



指をはなすとフックが糸をひっかけて針穴に通します。

糸をひき出します



通した糸を針穴から10センチくらい引き出します。

ご注意

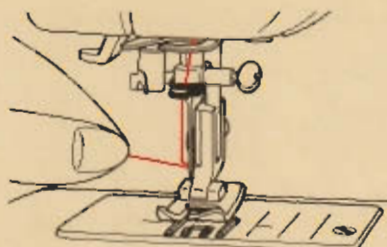
1. ミシンが動いているときは糸通しレバーをさげないでください。
2. 針自動糸通しは11番、14番、16番の針に使用できます。



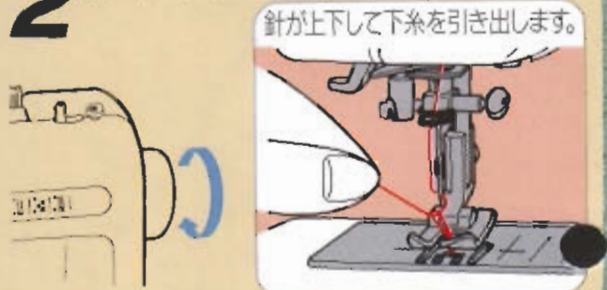
使い方の基本

下糸の引きあげ方

1 上糸を軽くもちます。



2 はずみ車を手前にまわします。



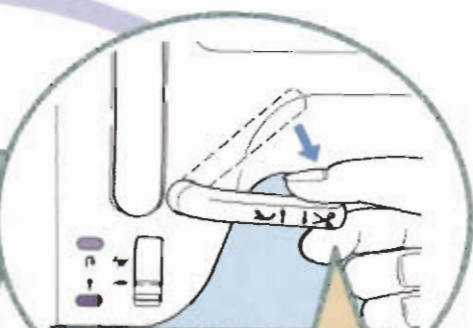
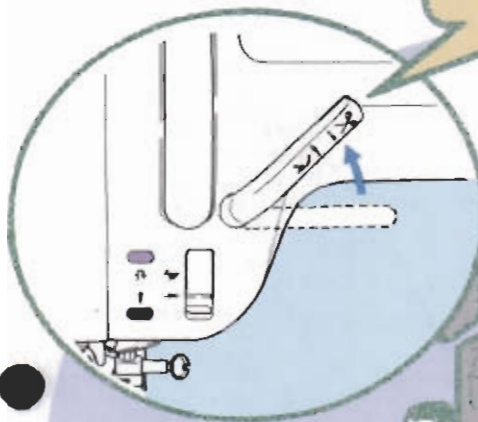
3 上・下糸をそろえて10センチ以上
後ろへ出します。

使い方の基本

模様と用途にあった「押え」を使いましょう!

押えの交換

1 押え上げレバーをあげます。



4 押え上げレバーを下げると押えはセットできます。

2 ボタンを押します。
押えははずれます。

3 交換する押えのピンと刻線を合わせます。



押えは付属品ケースの中に入っています

押えの種類と各模様の関係及び主な用途

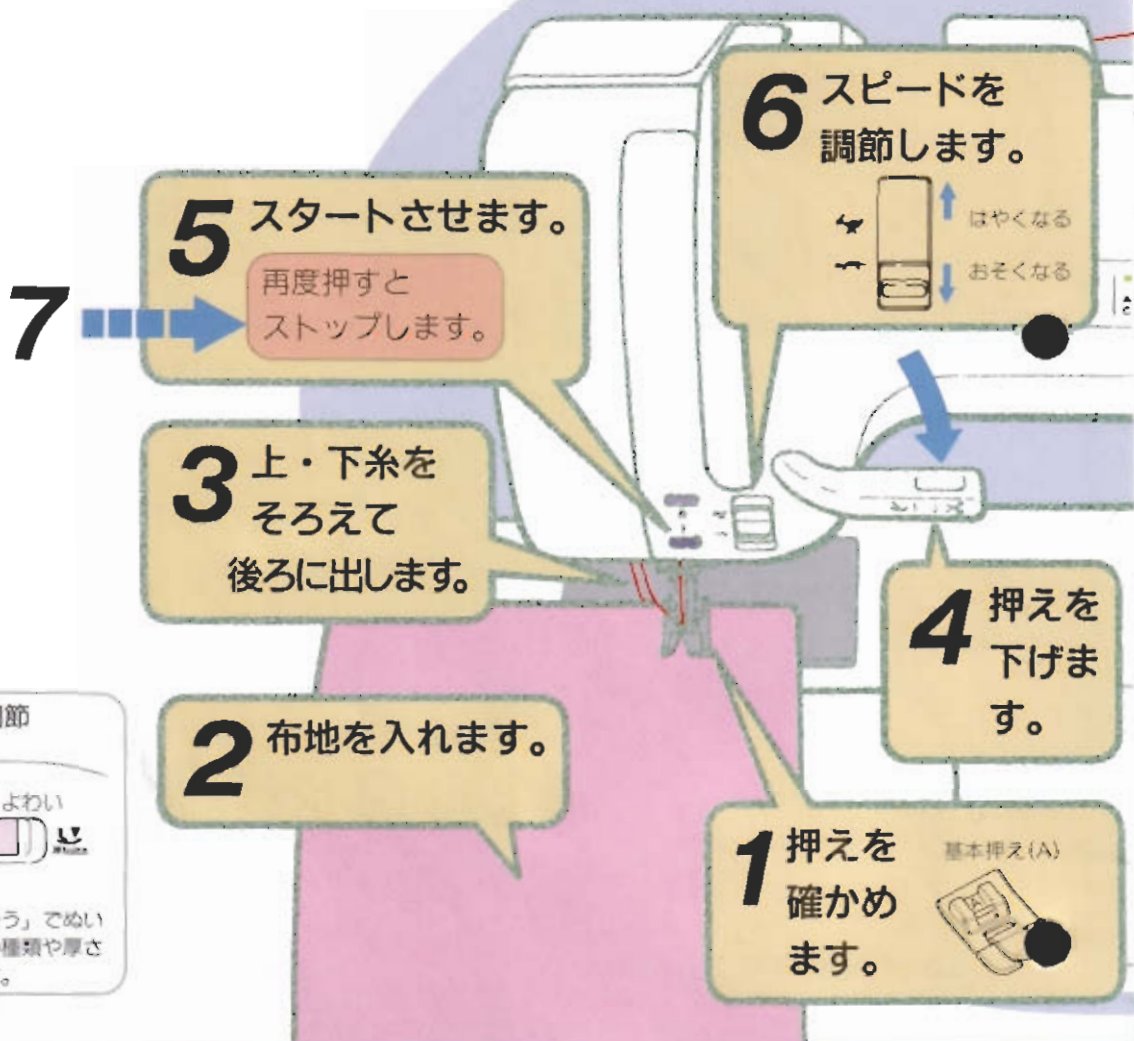
押え	基本押え						模様押え		ファスナー押え	裁ち目かがり押え	ブラインドステッチ押え	ボタン穴かがり押え
記号	A						T		B	C	D	E
模様							異象模様 No.00~19 A面模様 No.47~75 76~79 86~89	A面模様 No.20~48 80~85 90~97 B面模様 No.20~97			振り幅5 	
主な用途	直線ぬい キルトインク ピンタックなど	伸縮強化ぬい シグザグぬい	キルトインクなど アップリケ シグザグぬい	裁ち目かがり エラスチックステッチ 三点シグザグぬい	裁ち目かがり バッチワーク など	模様ぬい	標準模様ぬい	ファスナーつけ	裁ち目かがり (オーバーロック)	ブラインド ステッチ (まつりぬい)	自動ボタン 穴かがり	

使い方の基本

布地を入れてぬってみよう!

電源を入れると直線模様が選ばれます

ぬい方の基本



押え圧の調節

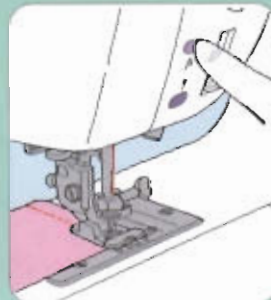
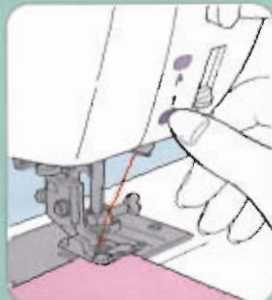
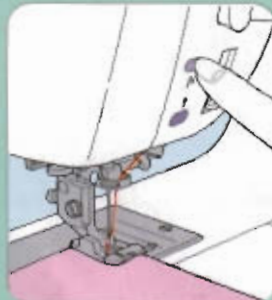
ふつう よわい

通常は「ふつう」でぬい
ます。布地の種類や厚さ
で調節します。

●返しぬい(ほつれ止め) ぬい始めと、ぬい終りに返しぬいをすると ぬい目がほつれません。



- 返しぬいスイッチを
押します
- スタート・スイッチを
押します
- 返しぬいスイッチを
押します



※返しぬいスイッチは押している間だけ返しぬいができます。

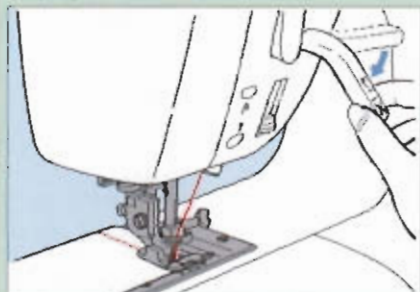
※返しぬいは、ゆっくりな速度になっています。

※ジグザグなどの模様ぬいのときは、止めぬいになります。

自動糸切り

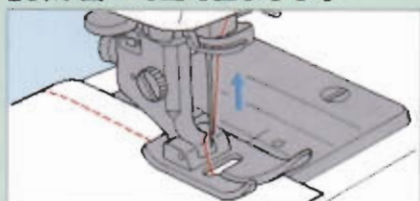
ぬい終わったら

1 糸切りレバーをさげます

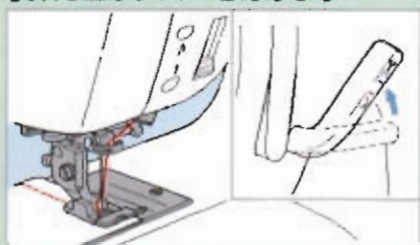


糸切りレバーを下にいっぱいまでさげます。

2 針が動いて上で止まります



3 押え上げレバーをあげます



4 上・下糸が切られて
あとは布地をとり出すだけです

※自動糸切りをしたとき下糸が針板上に出なくても続けてぬうことができます。

30番以下の太い糸や特殊な糸は押え棒の裏側にある糸切りみぞやハサミを使って糸を切って下さい。【応用編4ページ参照】

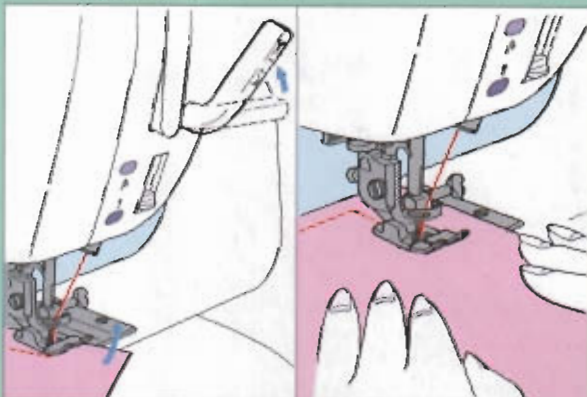
これは便利/
糸のムダがないね



自動糸切りしたあと、
下糸が見えなくても
そのままぬえるのね!



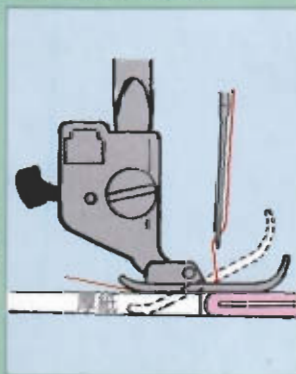
●ぬい方向を変えるとき



押えをあげ、針を軸にして
布地を回します。

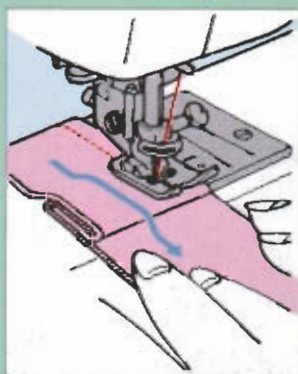
押えをさげて、ぬい始めます。

●厚地のぬい始め



布端と同じ厚さの厚紙や布地を
押えの下に入れますとスムーズ
に進みます。

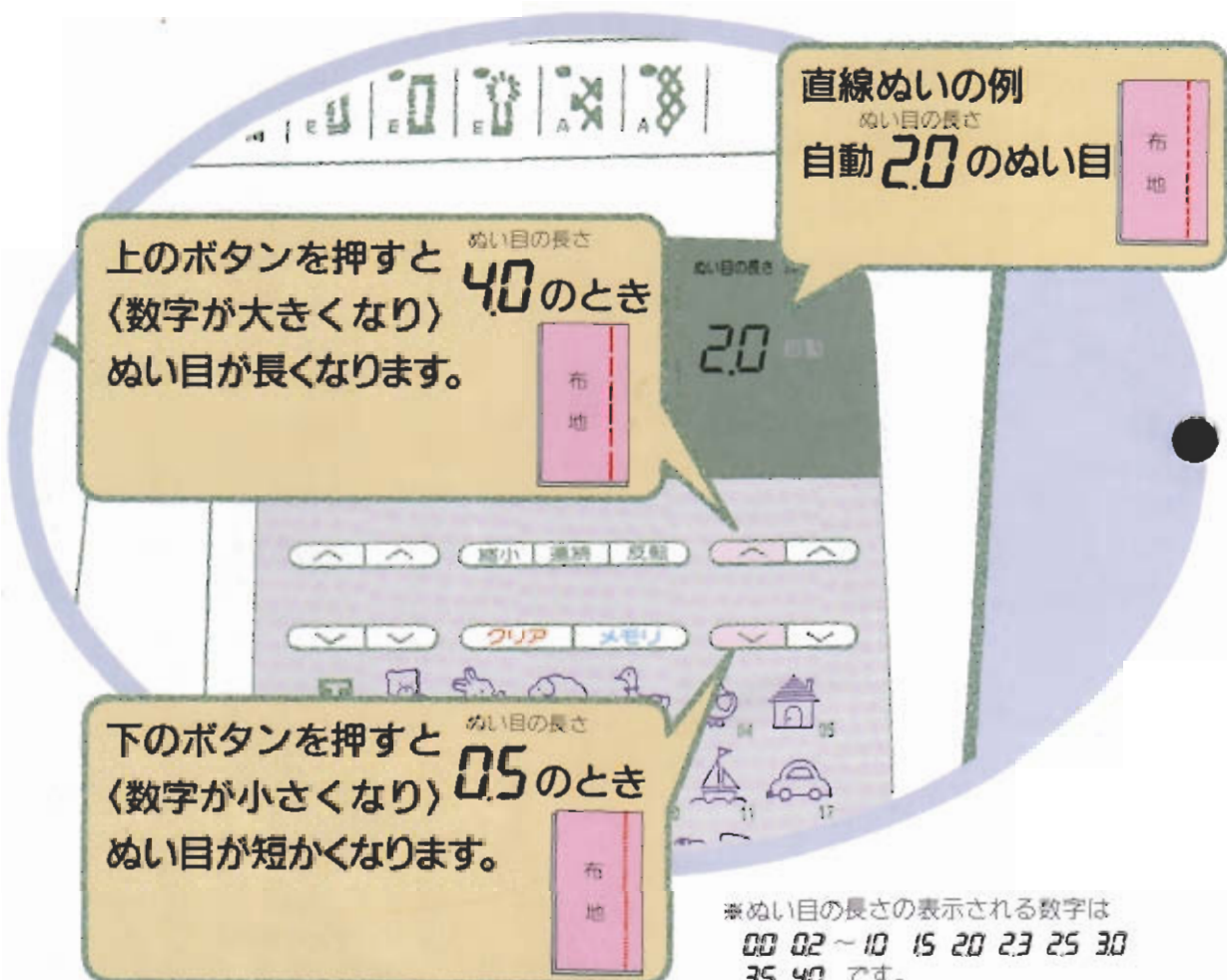
●ぬい代の重なっているとき



極端に厚みに差があるときは、
ぬい代を倒した方向にぬいます。

模様を選ぶと自動的に適正なぬい目がセットされていますが――

ぬい目の長さを変えたいときは……



直線ぬいの例

ぬい目の長さ

自動 **20** のぬい目

布地

上のボタンを押すと
〈数字が大きくなり〉
ぬい目が長くなります。

ぬい目の長さ

40 のとき

布地


下のボタンを押すと
〈数字が小さくなり〉
ぬい目が短くなります。

ぬい目の長さ

05 のとき

布地

※ぬい目の長さの表示される数字は
**00 02 ~ 10 15 20 23 25 30
35 40** です。

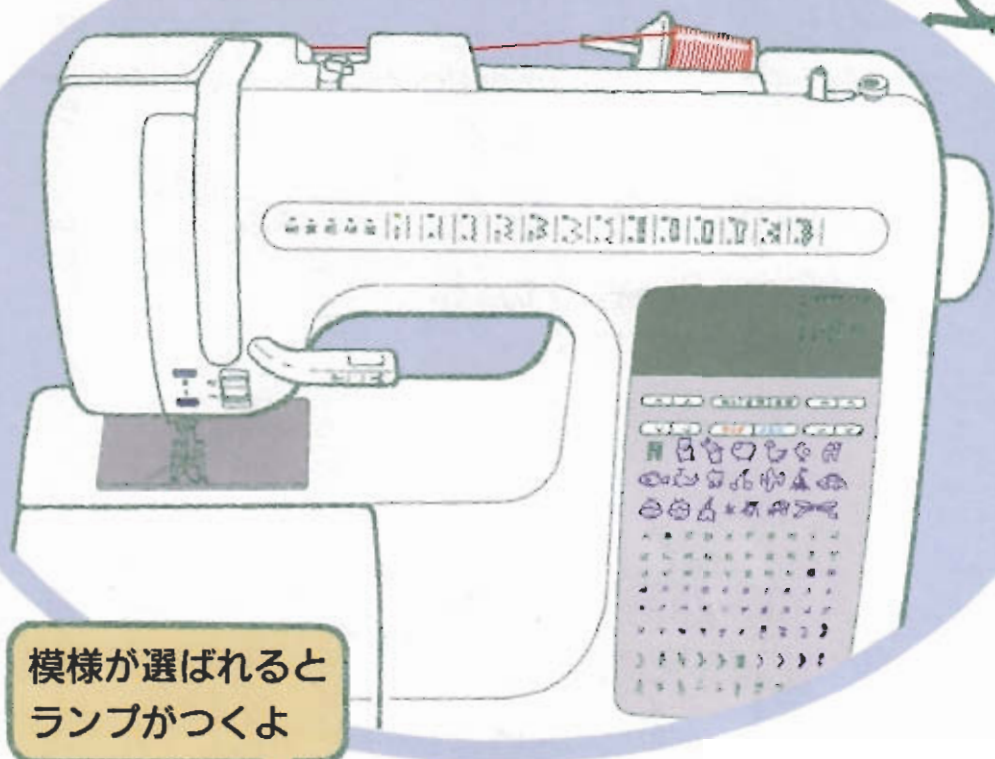
※  の表示される模様はボタンを押しても表示は変わりません。

各模様の ぬい目の長さ の自動と調節できる範囲

模 様	A面模様										異象模様 No.00~19 A面模様 No.20~79 84~97 B面模様 No.20~97
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ぬい目の長さ	自動	20	10	15	20	両かん止め 05 ハトメ 06	20	10	--	05	--
	調節できる範囲	00 }	00 }	00 }	00 }	00 }	00 }	00 }	--	00 }	--
		40	40	40	40	10	40	40	--	40	--

ジグザグなど基本模様を選ぶには……

指先で直接模様の上を押すと選べるよ!



模様が選ばれるとランプがつくよ

基本模様選択キー



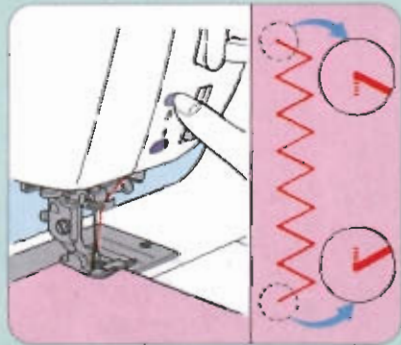
＊アルファベットは押えの記号です

ジグザグぬいの振り幅とぬい目の長さの関係

ジグザグ模様				
振り幅		2	3	5
ぬい目の長さ	自動	1.0	1.5	2.0
	調節した場合	0.2 ~ 4.0	0.2 ~ 4.0	0.2 ~ 4.0

●止めぬい(返しぬい)

ジグザグのぬい始めとぬい終りに止めぬいをするとうい目がほつれません。

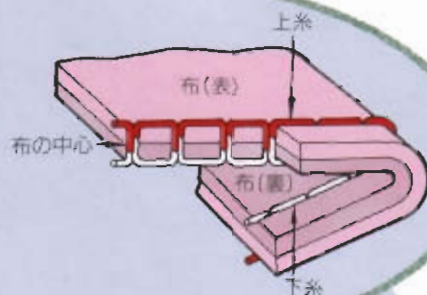


ぬい始めとぬい終りに返しぬいスイッチを押します。

自動糸調子はコンピューターで最適な糸調子になっていますが——

糸調子を変えたいときは……

良い糸調子は
上糸と下糸の
からんでいる
ところが
布の中心です。

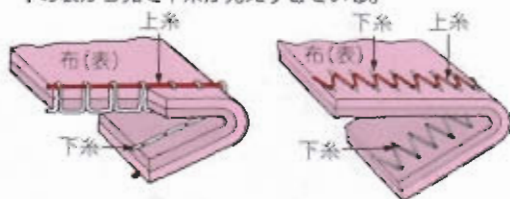


上糸調子を強く
したいとき 上の
ボタンを押します
(4段階に強くなります)

上糸調子を弱く
したいとき 下の
ボタンを押します
(4段階に弱くなります)

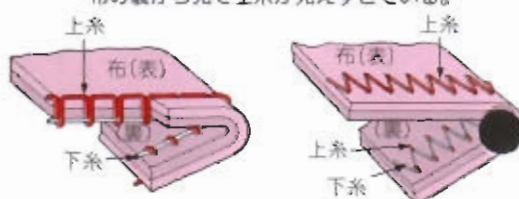
糸調子が強いとは……

下の表から見て下糸が見えすぎている。



糸調子が弱いとは……

布の裏から見て上糸が見えすぎている。



●いせ込み・ギャザーの寄せ方(直線ぬい)

袖山やスカートのウエストなどに、いせ込みをする場合と袖口やヨークなどにギャザーを入れる場合は、上糸調子をよわくしてぬい、そのあと手で下糸を引いて布地をちぢめます。

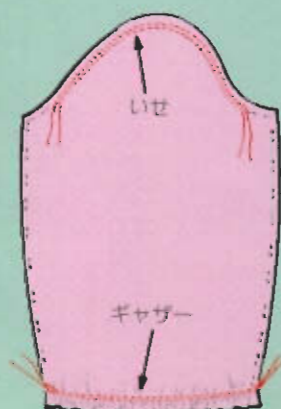
ぬい目の長さを
20~40に
します

ぬい目の長さ 40

上糸調子を
弱くします

1	2	3	4
上糸調子 34/42	上糸調子 34/42	上糸調子 34/42	上糸調子 34/42
40/42	44/42	48/42	52/42

上糸調子は4段階に弱くなります。



しんせつモニターが点灯しているときは……

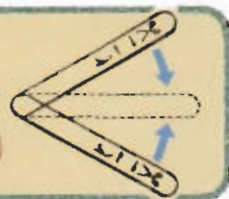
針が1針しか動かない。

糸巻軸が右側になっている。



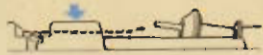
ランプが点滅し、針が1針しか動かない。

押えレバーが上か下になっている。



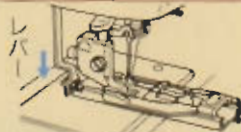
ぬっている途中、ミシンが動かなくなった。

上糸がなくなっているか最初の糸かけ部に正しく糸がかかっていない。



ランプが点滅になりミシンが動かない

ボタン穴かがりのときレバーがセットされていない

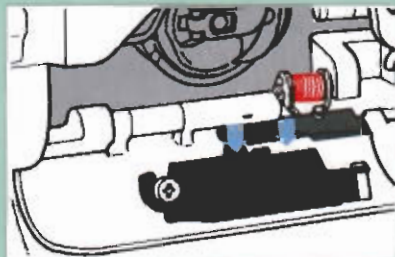


下糸(ボビン)の残り量が少なくなっている。

矢印の方向に動かすとランプの点灯は消えます
(上糸がなくなったときは、糸をかけ直せば消えます)

● 下糸の残り量についてのご注意

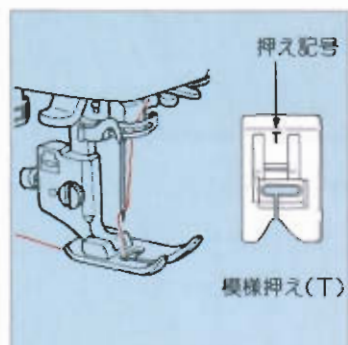
糸の太さにより下糸の残り量は変わります。
透明な糸など特殊糸は検知しませんので、
ご注意ください。



下糸の残り量を検知するため、矢印の部分はつねに掃除をしてください。

大型具象模様をぬうには……

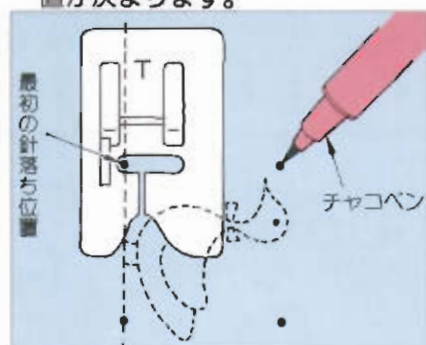
- 模様・文字ぬいは模様押え(T)を使います。
- きれいに大型模様をぬうためには芯地をはり、ためしぬい(21ページ参照)をしましょう。
- 付属のステッチガイドシートで、布地に印をつけると、模様の配置が決まります。



押えの交換は8ページ参照



裏面に接着芯地(不織布)をアイロンで接着させます。(アイロン温度は低温～中温です)
*不織布の接着芯地は仮接着タイプを使います。



模様はぬいでもぬえるよう横向きになります。

1. ワンポイントぬい



大型模様のシンボルです

もようNO. 03

もようの大きさ

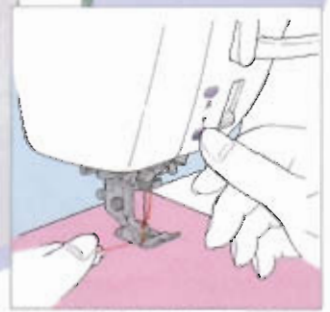
ぬいぬいの向き 自動

2 模様NO.を指定します。

- 上のボタンを押すと数字は大きくなります。
- 下のボタンを押すと小さくなります。

1 模様を選び 模様NO.を調べます。

3 スタートさせます。



ぬい上がると自動的に止まります。

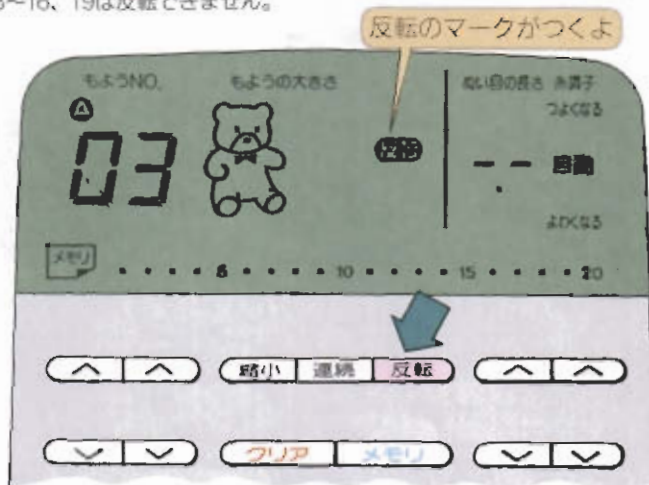
*まちがえて「縮小」「連続」「反転」などのボタンを押してしまったとき、「クリア」ボタンを押すと取り消されます。

2. 反転ぬい

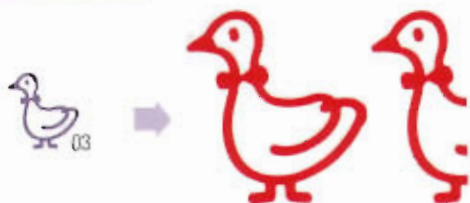
※模様NO.13~16、19は反転できません。



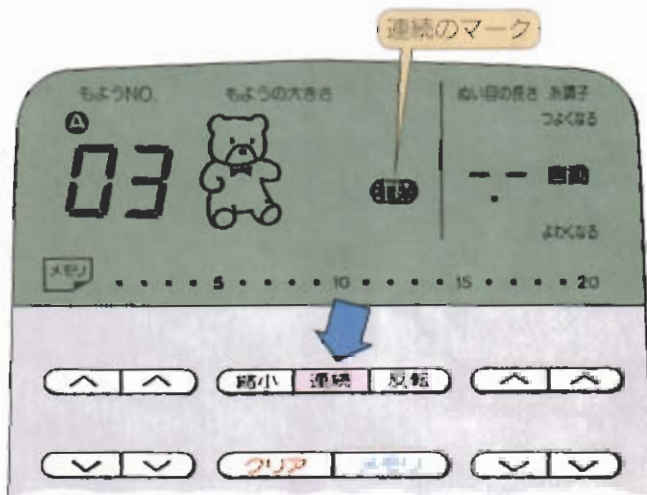
1. 模様NO.を指定します。
2. 反転 ボタンを押します。
3. スタートさせます。



3. 連続ぬい



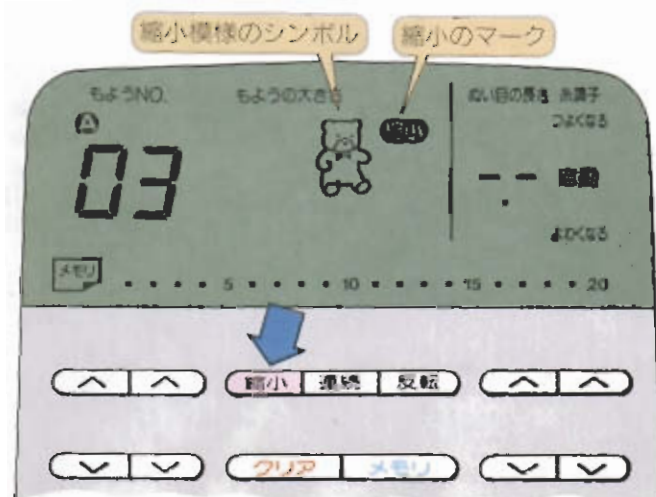
1. 模様NO.を指定します。
2. 連続 ボタンを押します。
3. スタートさせます。
4. ストップさせるまでぬい続けます。



4. 縮小ぬい



1. 模様NO.を指定します。
2. 縮小 ボタンを押します。
3. スタートさせます。



大型アルファベットをぬうには ……

1. ワンポイントぬい

例として



A面の表示 大型のシンボル 模様番号

3 選んだ模様 NO.を指定します。

2 47~75の中から模様NO.を選びます。

1 A面に切替えます。

ぬい上がると自動的に止まります。

※ は横棒、 は空白、 は丸点です。

47 48 49

2. 縮小ぬい



1. Aの模様NO.50を指定します。
2. 縮小 ボタンを押します。
3. スタートさせます。

縮小模様のシンボル 縮小のマーク

ちようNO. ちようの大きさ ぬい目の長さ あみ子
つよがる

50 縮小 自動

メモリ 5 10 15 20

↑ ↑ 縮小 連続 反転 ↓ ↓

↓ ↓ クリア メモリ ↓ ↓

※ アルファベットは反転できません。

大型連続模様をぬうには……

例として

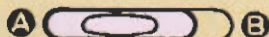
76



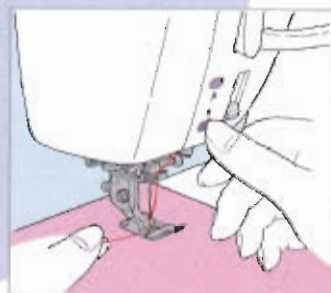
3 選んだ模様
NO.を指定し
ます。

2 76~79, 86~
89の中から模
様NO.を選び
ます。

1 A面に切替えます。



4 スタート
させます。



ストップさせるまでぬい続けます。

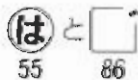
※縮小、反転、メモリはできません。

標準模様をぬうには……

ひらがな濁点

例として

ば



標準サイズの模様

A面…20~49, 80~85,
90~97

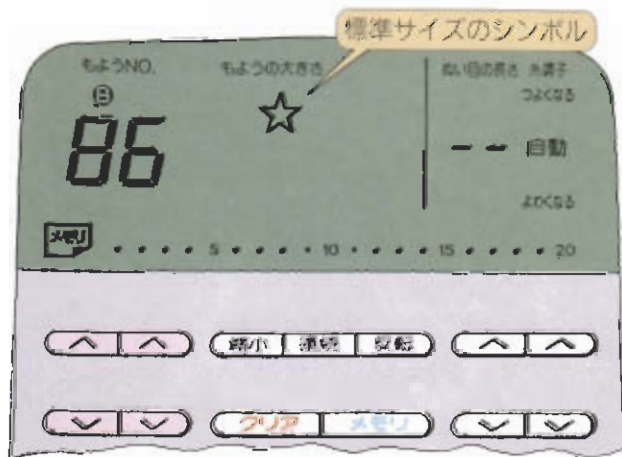
B面…20~97すべての模様

1. B面に切替えます。
2. はの模様NO.55を指定します。
3. スタートさせます。
(ぬい終わっても押えを上げないで)
4. の模様NO.86を指定します。
5. スタートさせます。

※縮小・反転はできません。

※NO.を指定した後、**メモリ** ボタンを押すと
くりかえしてぬうことができます。




(**メモリ** ボタンの使い方は19ページ参照)



模様を組み合わせてぬうには……

大型アルファベットの組み合わせ

T.Y

A面  と  と 
 69 49 74

メモリボタンを押すと出ます

模様が記憶された個数のマークです

2 69を指定します。

4 49を指定します。

6 74を指定します。

3 メモリボタンを押します。

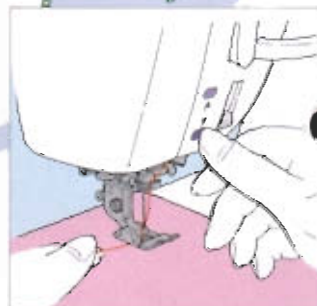
5 メモリボタンを押します。

7 メモリボタンを押します。

1 A面に切替えます。



8 スタートさせます。



ぬい上がると自動的に止まります。

※ **メモリ** は20個までの模様を記憶できます。

メモリ ボタン(記憶)を使ったときの取り消し方(3つの方法があります)

1. **クリア** ボタンを押す。
 2. 基本模様を選ぶ。
 3. 電源を切り、入れなおす。
- 一度に記憶したすべてを消すことができます。

“できません”の表示が出る場合は……反転・縮小できない模様を選んだとき、
 21個以上模様をメモリ(記憶)したときです。

大型具象模様を組み合せ



1. 06 を指定します。
2. **メモリ** ボタンを押します。
3. **反転** ボタンを押します。
4. **メモリ** ボタンを押します。
5. 07 を指定します。
6. **縮小** ボタンを押します。
7. **メモリ** ボタンを押します。
8. **反転** ボタンを押します。
9. **メモリ** ボタンを押します。
10. スタートさせます。

大型具象模様とA・B面模様を組み合せ



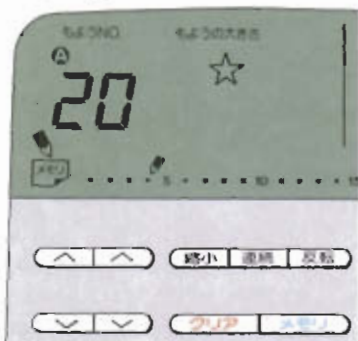
1. 14 を指定します。
2. **メモリ** ボタンを押します。
3. **A面** にします。
4. 31 を指定します。
5. **メモリ** ボタンを押します。
6. **B面** に切替えます。
7. 81 を指定します。
8. **メモリ** ボタンを押します。
9. **A面** に切替えます。
10. 41 を指定します。
11. **メモリ** ボタンを押します。
12. 24 を指定します。
13. **メモリ** ボタンを押します。
14. 13 を指定します。
15. **メモリ** ボタンを押します。
16. スタートさせます。

模様NO.の訂正の仕方

クリア ボタンはメモリ ボタンを使用したときのみ使います。

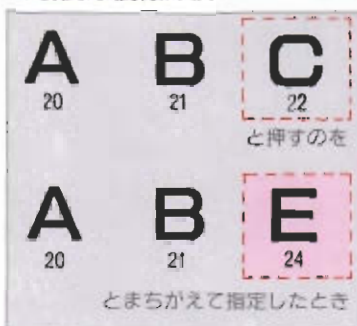
●組み合わせ模様で模様NO.を まちがえて指定したときの直し方

- ※ **クリア** ボタンを押すと取り消すことができます。
- ※ **クリア** ボタンは1回押すごとに最後に指定した模様No.から順に取り消します。
- ※ **クリア** ボタンを押しつづけると指定した模様のすべてが取り消せます(オールクリア)。
- ※ 電源を切ったり、基本模様を選ぶとオールクリアされます。



- **メモリ** が表示されているとき、さらに模様を指定すると追加されます。
- 新しく模様をメモリしたいときは、必ずオールクリアにして、表示窓の **メモリ** を消してください。

●最後の模様NO.をまちがえて指定したとき

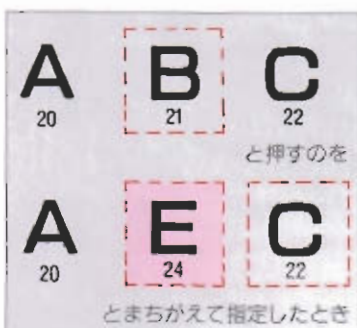


1 **クリア** ボタンを押します

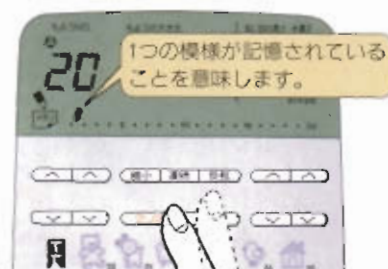


1回押すと最後の指定された模様NO.が取り消されます。
すると…2番目に指定したBのNO.が表示されます。

●途中の模様NO.の指定をまちがえたとき



1 **クリア** ボタンを2回押します



すると…最初に指定したAのNO.が表示されます。

模様の形の整え方

※ 布の種類や厚さ、接着芯地(不織布)などの種類により模様が変形することがありますので、必ず **ためしぬい** をしてください。

1. **ためしぬい** 模様NO. **98** を指定します。

2. スタートさせます。



A面・B面模様どちらでも指定できます。

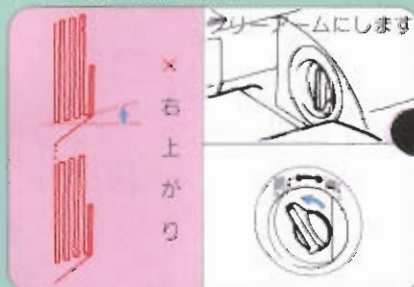
● 模様をぬうときは必ず **ためしぬい** をします。

正しいぬい上り



正しくぬえますと模様もきれいにぬえます。

右上がりの調整方法



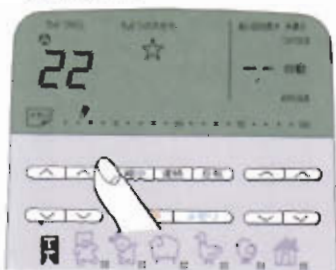
模様調整レバーを左へ回します。

右下がりの調整方法



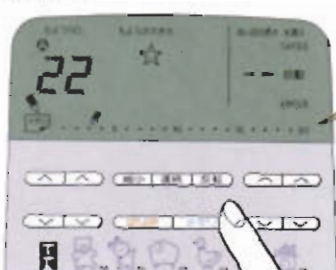
模様調整レバーを右へ回します。

2 正しい模様NO.を
指定します



メモリの表示の上に印がないときは表示されている模様NO.がメモリ（記憶）されていないことを意味します。

3 **メモリ** ボタンを
押します



メモリ（記憶）された
模様の数が表示されます。

2 正しいNO.を
指定し直します



3 **メモリ** ボタンを
押します

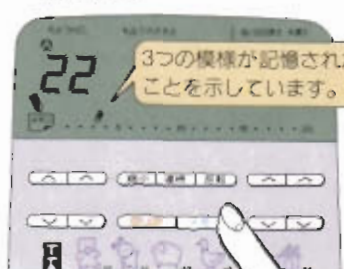


4 Cの模様NO.を
指定します



最後のCも **メモリ** ボタンで取り消されていますので再度、指定します。

5 **メモリ** ボタンを
押します



3つの模様記憶された
ことを示しています。

渡り糸の始末の仕方

● 渡り糸の始末のしかた

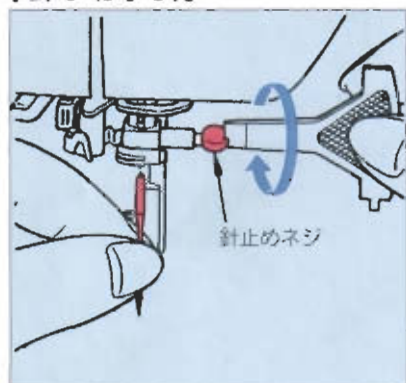


布表のいらぬ部分の糸をハサミで始末します。

針の交換

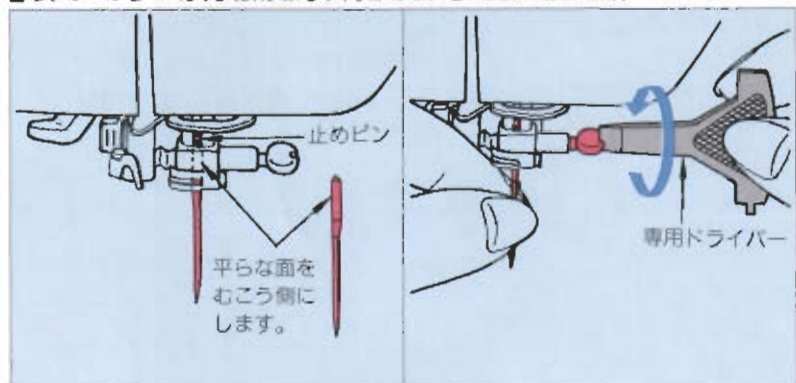
*電源は必ず切ってください。

1 針の はずし方



- ①針を最上部にあげます。
- ②針止めネジをゆるめます。

2 針の とりつけ方(針が正しい向きでないと とりつきません)

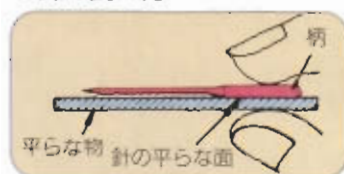


- 針の平らな面をむこうにして止めピンに突きあてます。
- 付属の専用ドライバーで針止めネジをかたくしめます。

●針の選び方

針をお買求めの際は
家庭用ミシン針のHA×1、または
HA×1KN(ニット針)を指定します。

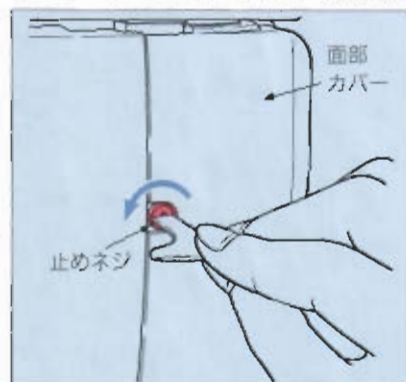
●針の調べ方



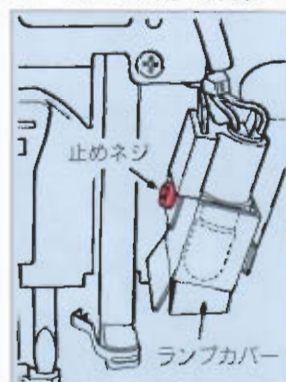
すき間が針先まで平均に見えるのが
良い針です。
針先が曲ったり、つぶれているものは
使わないようにします。

ランプの交換

(面部カバーのとりはずし方) *ランプを交換するときは必ず電源を切ってください。



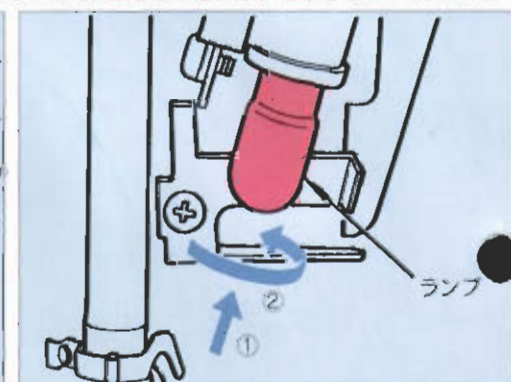
面部カバーの後ろにある止めネジを約2回転
ゆるめ、横にまっすぐ、面部カバーをぬきま
す。



止めネジをゆるめてランプ
カバーをはずします。

*ランプ消費電力 5W

*ランプは当社サービスセンターまたはお買い上げ店で求めください。

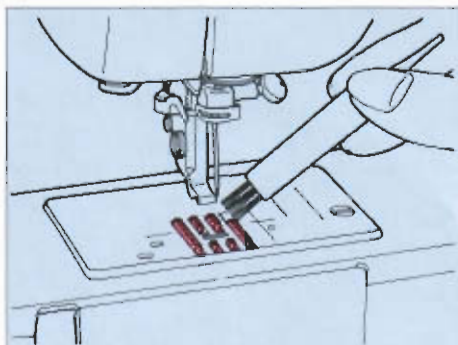


ランプを上を押して矢印の方向に回わします。

ミシンの手入れ

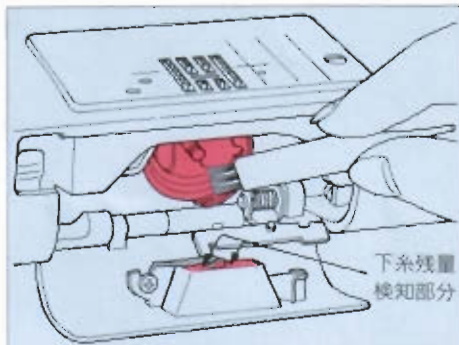
●糸くずや ほこりの掃除について

糸くずやほこりがたまりますと故障の原因となります。常にきれいにしておきましょう。



送り歯と針板の間は針や押えをはずして付属品の掃除用ブラシを使います。たくさんたまってしまったときは掃除機を使うときれいになります。

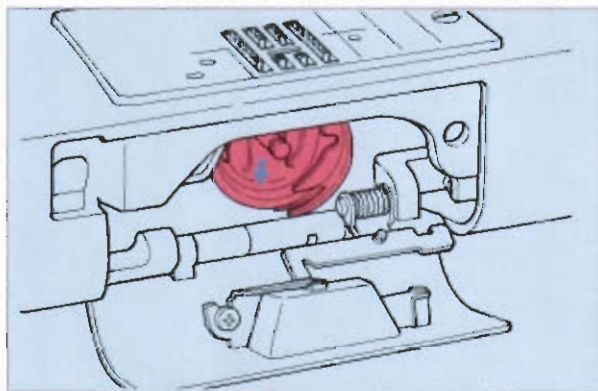
※必ず電源を切り、室内コンセントからプラグをぬいて下さい。



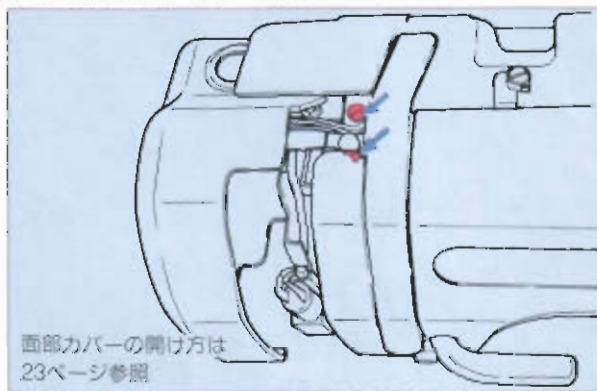
かまの周辺と下糸残量検知部分を掃除用ブラシやピンセットなどで常にきれいにしておきましょう。

●注油のし方

このミシンは特殊軸受けを採用していますが、長時間ご使用の場合、又は長時間使わなかった場合は、下図の所に注油します。



①かまカバーを開け、ポビンケースをはずしてかまに注油します。



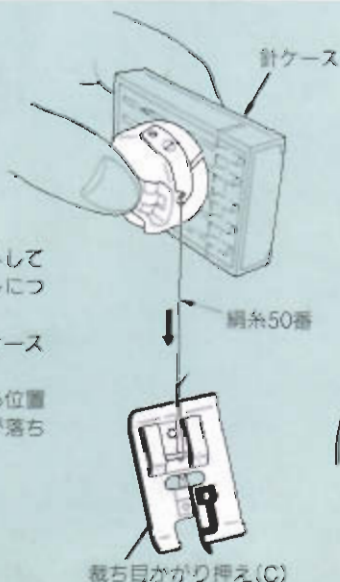
面部カバーの開け方は23ページ参照

②面部カバーを開けて、針棒の上と押え棒の上(矢印)のところに注油します。

ポビンケースの調整方法

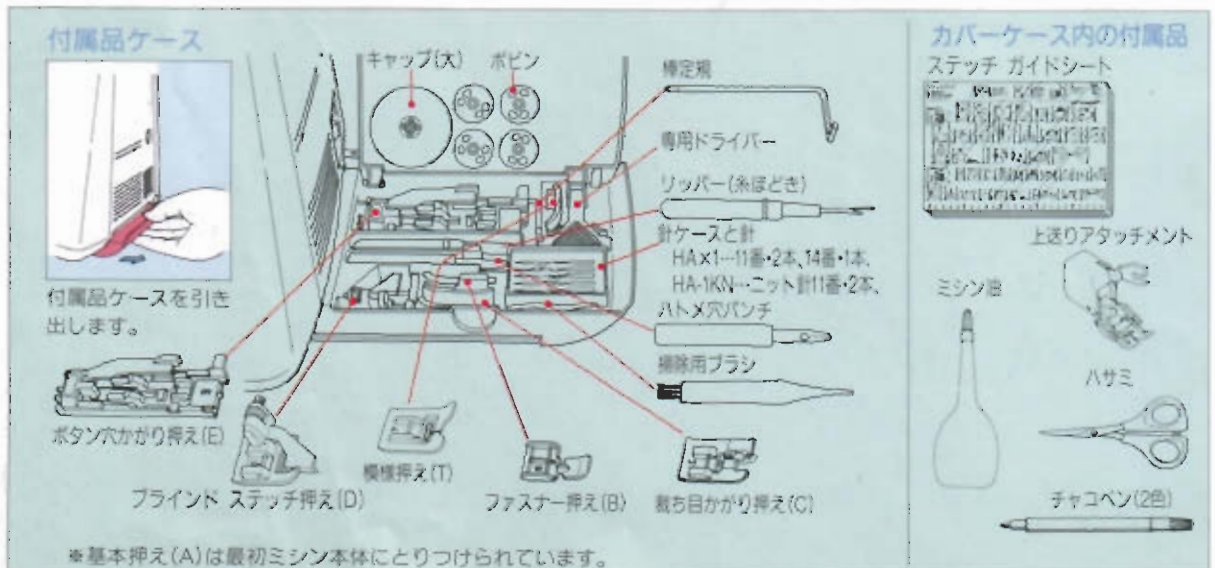
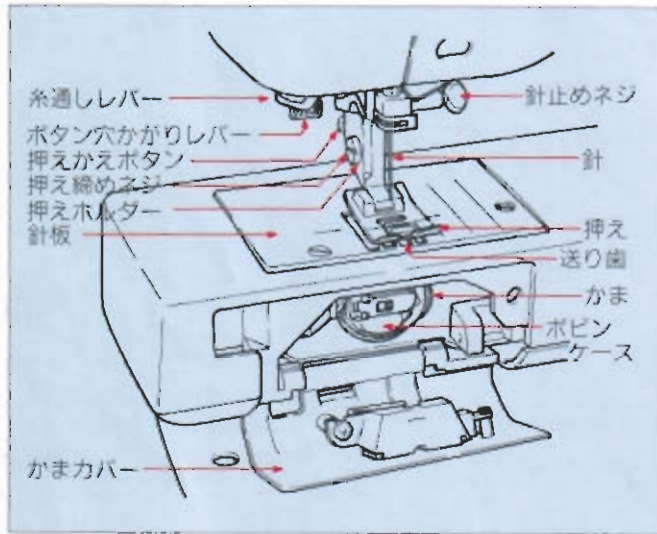
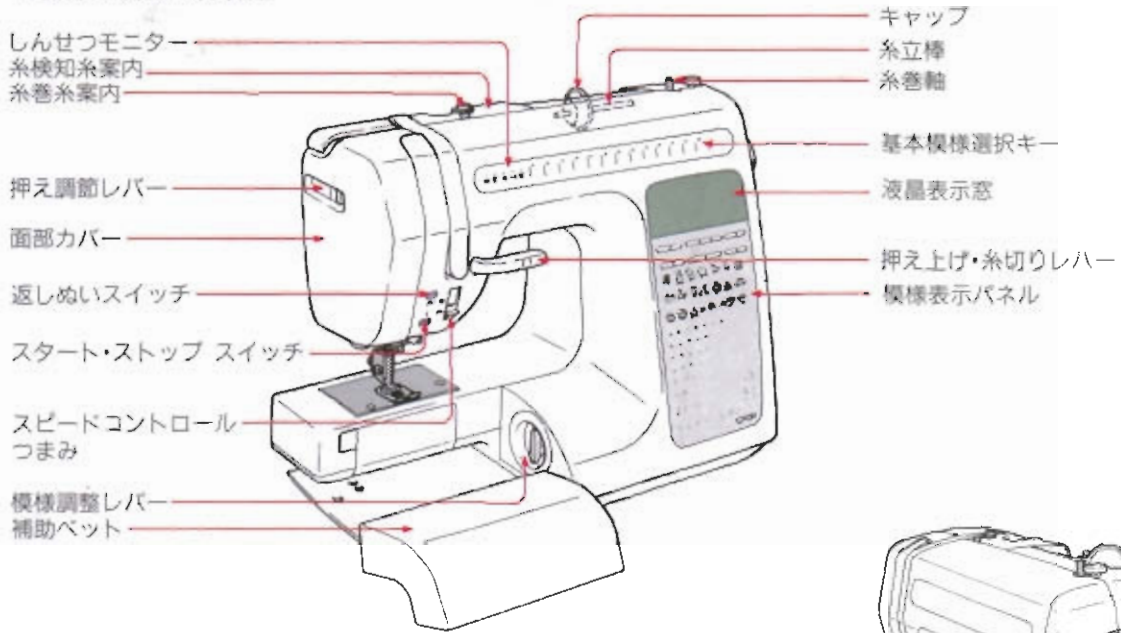
同梱されているポビンケースの下糸の調子はすでに正しく調整されていますので、調整する必要はありませんが、もし調整を必要とする場合は、右の方法で行ってください。

- ①絹糸50番をポビンケースにセットして裁ち目かがり押え(C)を糸のはしにつるします。
- ②針ケースなど平らな板にポビンケースのポビン側を押しつけます。
- ③ポビンケースの真横から糸が出る位置にして軽くふり、少しずつ押えが落ちるのを目安とします。





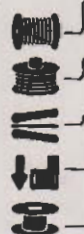


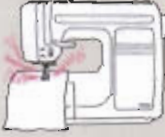


ポビンケースの糸調子ネジを右へ回すと下糸調子は強くなり、左へ回すと弱くなります。

●各部の名称と付属品









サービスをお申しつけになる前に(1)

次のような場合は故障ではありません。サービスをお申しつけになる前にもう一度確かめてください。

現象	原因(理由)	処置方法	ページ
 <ul style="list-style-type: none"> ●めっているとき急に回転しなくなった。 ※ランプはついていて、はずみ車も手で普通に回せるとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ゆっくりぬいを長時間行ったとき。 ※モーターの異常発熱を防ぐため、自動的にモーター電源が切れるしくみになっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源スイッチを切り、しばらく(約20分間)すると安全装置が復帰し、正常に戻ります。 	
 <ul style="list-style-type: none"> ●しんせつモニターのランプがついている。 	 <ul style="list-style-type: none"> ●上糸がなくなっている。 ●糸巻軸が右側になっている。 ●押え上げ、糸切りレバーが水平になっていない。 ●ボタン穴かがりのとき、レバーがさがっていない。 ●下糸が少なくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●上糸をかけかえてスタートスイッチを押します。 ●糸巻軸を左いっぱいまでもどします。 ●押え上げ糸切りレバーを水平にします。 ●ボタン穴かがりレバーをさげます。 ●下糸を補充します。 	14 14 14 14 14
 <ul style="list-style-type: none"> ●スタート・ストップスイッチを押してもミシンが回らない。(ランプはつく) 	<ul style="list-style-type: none"> ●押えのつけまちがにより、針が押えに当たっている。 ●針が外れてかまの中に落したままスタートさせたとき。 ●ボビンケースを入れ忘れてぬってしまったとき。(かまの中心の輪に糸がからんでいる) ●かまに糸がからんで喰い込んでいるとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●模様合った押えにとりかえます。 ●針を取り除きます。 ●からんだ糸をハサミ等で切断し、取り除いてからボビンケースを入れます。 ●かまに注油し、はずみ車を前後に強くまわし、糸をとりのぞきます。 	7 7
 <ul style="list-style-type: none"> ●針が折れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●細い針で厚物をぬったとき。 ●針が奥まできちんとはいっていないとき。 ●針止めネジの締め方が弱いとき。 ●模様に対して押えがまちがっているとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●布地、ミシン糸、ミシン針の関係を調べます。 ●針のとりつけ方を調べます。 ●針止めネジをしっかりと締めます。 ●模様と押えの関係を調べます。 	応用編 1 25 25 7
 <ul style="list-style-type: none"> ●回転音が重い、または、音が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●送り歯にゴミがたまっているとき。 ●長時間使用して油がなくなったとき。 ●ミシン油でない油を使用したとき。 ●かまに糸クズがたまっているとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ミシンの手入れをします。 ● ” ●ミシン油を使います。 ●ミシンのそうじをします。 	26 26 26
 <ul style="list-style-type: none"> ●はずみ車が重く、回らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●かまに糸がからんで喰い込んでいるとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●かまに注油してから、はずみ車を前後に強く数回まわし、からんだ糸をとりのぞきます。 	
 <ul style="list-style-type: none"> ●布を送らないとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ぬい目の長さが0になっている。 ●押えの圧力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●模様を選びなおすと模様の適正なぬい目の長さがセットされます。 ●押え調節レバーを「ふつう」にします。 	12 9

サービスをお申しつけになる前に(2)

現象	原因(理由)	処置方法	ページ
 <ul style="list-style-type: none"> ●糸通しができない。 ※糸通しのフックが回転しない。 ●糸通しのフックが針穴に入らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●針が上にあがっていないとき。 ※針があがっていないときは、フックの保護のため回転しないしくみになっています。 ●針が奥まできちんとはいっていないとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●はずみ車を回して、針を上にあげます。 ●針のとりつけ方を調べます。 	5 25
 <ul style="list-style-type: none"> ●糸通しレバーがもどらず、ミシンが回らなくなった。 ※針穴の中に糸通しのフックが入ったまま。 	<ul style="list-style-type: none"> ●糸通しレバーをさげたまま(糸通し中)戻ってミシンを回してしまったとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●はずみ車を手でわずかに向う側(ぬうときと反対)に回します。 	
 <ul style="list-style-type: none"> ●スタート・ストップスイッチを押してもミシンがスタートしない。 ●ぬっている途中、スピードコントロールつまみを動かしても、速度が変わらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●足踏みのコントローラー(別売)が差し込んであるとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コントローラーをはずせばスタート・ストップスイッチやスピードコントロールつまみが使用できます。 	30
 <ul style="list-style-type: none"> ●糸が切れる。 ●ぬい目が飛ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●糸のかけ方がまちがっているとき。 ●糸にこぶや結び目があるとき。 ●糸調子の合わせ方が悪いとき。 ●針が曲っていたり、針先がつぶれているとき。 ●針のとりつけ方がまちがっているとき。 ●ボビンケースがかまによく差し込まれていないとき。 ●ボビンケースの糸の通し方がまちがっているとき。 ●ボビンがボビンケースの中で滑らかに回らないとき。 ●針と糸の太さが合っていないとき。 ●天びんに糸がかかっているとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●糸をかける順序を調べてかけ直します。 ●糸こぶや結び目をとりのぞきます。 ●模様、ミシン糸の関係を調べて合わせます。 ●針をとりかえます。 ●針を正しくとりつけます。 ●ボビンケースをかまに確実に差し込みます。 ●ボビンをボビンケースに入れる方法を調べます。 ●下糸の巻き方を調べます。 ●ミシン糸、針の関係をよく調べます。 ●糸のかけ方を調べます。 	5, 6 応用編 1 25 25 4 4 3, 4 応用編 1 5, 6
 <ul style="list-style-type: none"> ●ぬい調子が合わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●糸検知糸案内の中に糸が入っていないとき。 ●糸のかけ方がまちがっているとき。 ●ボビンケースの糸の通し方がまちがっているとき。 ●ボビンケースの調節がまちがっているとき。 ●糸ゴマキャップの大きさが糸ゴマに合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●糸検知糸案内に糸を奥まできちんと押し込みます。 ●糸のかけ方を調べます。 ●ボビンをボビンケースに入れる方法を調べます。 ●ボビンケースの調整方法を調べます。 ●糸ゴマに合ったキャップをつけます。 	5, 6 5, 6 4 26 3, 4
 <ul style="list-style-type: none"> ●ぬい目にしわができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●薄物に対してぬい目が大きいとき。 ●針先がつぶれているとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ぬい目を小さく(みじかく)します。 ●針をとりかえます。 	11 25

●上記で直らないときは、お買上げ店又は当社サービスセンターへご連絡ください。

修理サービスのご案内

- この家庭用ミシンのご購入者には、お買い上げ店（保証責任者）から1年間の無料修理保証書が発行されます。内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 修理サービスは無料修理期間内、および期間経過後も原則として、お買い上げ店、または当社サービスセンターが承りますので、ご相談ください。
- 修理サービスについて、ご不審の点がある場合は、同梱のサービス網一覧表をご覧の上、当社サービスセンター、または当社お客様相談室へお申し越してください。

修理用部品の保有期間

- 交換修理に必要な動力伝達機能部品、および縫製機能部品は、通常、お買い上げの日から8年間を基準にして当社において保有しています。
- 修理部品は必要に応じて、販売店等に供給できるよう体制を整えています。

無料修理期間経過後の修理サービス

- 使用説明書に基づいてご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過していても、修理用部品の保有期間中は有料でサービスいたします。ただし、次に該当する場合は有料でも修理できない場合がありますので、お買い上げ店、または当社サービスセンターにご相談ください。

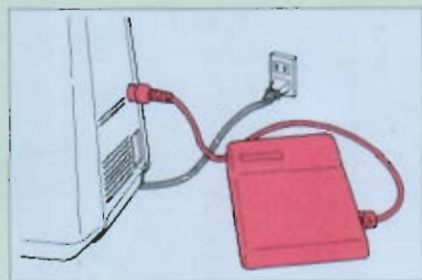
- ①保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
- ②浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
- ③お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
- ④お買い上げ店、および当社サービスセンター以外で修理、分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき。
- ⑤職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。

- 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は、修理によっても元通りに修理できないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店、あるいは当社が別に定める技術料の合計額になります。尚、消費税は別途申し受けます。

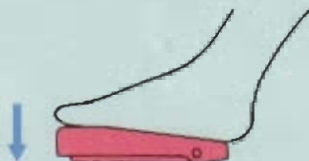
コントローラー(別売品)のご案内

コントローラーを使いますと足の操作でスタート・ストップからスピードコントロールもできます。

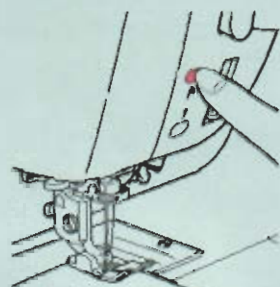
※コントローラーを使うときは、スタート・ストップスイッチはストップのみ有効です。スピードコントロールつまみは使えません。



コントローラーのプラグをミシンのコンセントに差しこみます。



コントローラーを踏みますと、ミシンがスタートし、速度も調節できます。足をはなしますと、ミシンは止まります。針は布に入ったまま止まります。



返しぬいをするときは、返しぬいスイッチを押します。

別売品はこのミシンのお買い上げ店、または当社サービスセンターでお求めください。

ソケットは標準装備



JUKI

JUKI 株式会社

〒182 東京都調布市国領町8-2-1

☎ 03-490-5655

アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、
下記、営業所へお問い合わせください。

東北特販営業所	〒980	仙台市鶴岡1-1-2	☎022(261)7081
東京特販営業所	〒180	東京都調布区国領4-23-3	☎ 03(205)1185
大阪特販営業所	〒530	大阪市北区豊崎新地2-6-21	☎ 06(348)1351
広島特販営業所	〒732	広島市中区富士見町4-22	☎082(246)7711
九州特販営業所	〒812	福岡市博多区博多駅東1-9-5	☎092(474)4947